

世の光

日本同盟基督教団

しっかりと組み合わされ、愛のうちに建てられるのです。
エペソ4章16節

8月

第863号
2022年8月1日



佐賀バイブルチャーチ開所式

P.2 教会ルポ

霞ヶ関キリスト教会
山の下福音教会

P.3 理事の声

教育局長 畑中洋人

P.4-5 国外宣教

宣教学研究会『和解と癒し』を読んで 下田陽介
南アフリカ 委託派遣宣教師 金 煥・朴 貞玉

P.6-7 国外宣教

モンゴル 教団派遣宣教師 矢田紫野
主の思いが注がれる時 金 やすみ

P.8-9 教職教育部

教師候補者研修会報告 山本恭代

IT委員会

ホームページ作成支援

P.10-11

家庭教育部 第3回親子セミナー報告 三浦峰人

「教会と国家」委員会

ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い(第1回)の報告

P.12

教団ニュース

教会教育部 子ども会用カリキュラム案内

P.13

献堂の恵み

富山聖書教会



P.14-15

献身の証し 高橋 渉 (登別中央福音教会)
金 正赫 (チャペルマラナタ)
山本 浩 (上田聖書教会)

青年部 あつまれDSともキャンのお知らせ

P.16

「教会と国家」委員会

平和祈禱会のお知らせ

浜名湖バイブルキャンプ

P.17

結婚の証し

山谷寛人 (高岡福音キリスト教会)

P.18 救いの証し

仲谷久典 (豊橋福音聖書教会)

松原湖バイブルキャンプ

教会ルポ

母たちの憩いの場に

霞ヶ関キリスト教会(関東宣教区 埼玉県川越市)

教職夫人 佐野 かつり

「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。邪魔してはいけません。神の国はこのような者たちのものなのです。……そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。」(マルコ10章14節、16節)

霞ヶ関キリスト教会では、母と子のナーサリーをしています。この働きは、前任の牧師夫人であった池田妙子姉により20年前に始まりました。

木曜日、朝10時になるとお母さんと子どもが教会にやってきました。0歳の赤ちゃんも、お母さんに抱かれています。

子どもたちは、挨拶をして出席シールを貼ります。乗り物や滑り台、鉄棒、ボール、指先を使う作業などをして過ごします。そして、お帰りの前に小さなお集まりをします。子どもたちは自分の名前が呼ばれたら、返事をして名前のプレート黒板に貼ります。季節の歌を歌ったり、聖書のお話を聞いたりします。以前は手作りの昼食と一緒に食べていたのですが、今は子



参加した赤ちゃんです

どもが持ち帰れる軽食をお渡しして、12時過ぎにお帰りになります。ナーサリーは生まれてから就園するまでの子どもとお母さんが主な対象ですが、時に妊婦さんや母だけの参加もあります。最近では、2ヶ月になろうとする赤ちゃんが加わりました。いのちの誕生を喜び、お母さんから出産や子どもとの生活の様子を聞き、母の働きをいたわり、共感します。お互いの存在を喜び、子どもたちの成長と一緒に楽しんでいきます。

この働きが、子育て中の母にとって、ほっとできる場、励ましの場、わたしたちを造り愛してくださる神さまと出会う場となることを願っています。

神さまに喜ばれる教会

山の下福音教会(新潟山形宣教区 新潟県新潟市東区)

信徒 辺土名 主男

山の下福音教会は、山の下ではなく海の近くにありますが、1966年リース宣教師ご夫妻が「山の下」という地域の一角で教会を始めたのがきっかけで今の教会名になりました。宣教師たちは教会開拓と同時に幼稚園を運営していたので、今も教会には幼児用のトイレと流し台、鉄棒が残っています。山の下福音教会の初代牧師は齋藤成美先生でした。2021年3月に齋藤先生が50年ぶりに新潟に来られ、教会が始まった頃の話をしてくださいました。

聖書の学びをしている友だちのお母さんが当時の幼稚園児だったので、不思議な感じがしました。宣教師たちの祈りが聞かれ、6代目の辺土名誠治先生が赴任してから、教会には120人を超える地域の子どもたちが来て福音を聞き、受洗者も与えられました。コロナ禍でも工夫して行われた子ども会では、毎回イエス・キリストを救い主として信じる人が与えられました。時かれた福音の種が実を結び、近年教会には大きな

試練がありました。信仰の先輩である大人たちが熱心に祈り、神の教会を守る姿は、子どもたちに大きな励みでした。コロナ禍でも礼拝を休むことなく、毎週子どもからお年寄りまでのみんなが、神さまに礼拝を献げています。毎週、みんなが喜んで教会に集うことに感謝しています。また、地域の福音化のために様々な伝道活動を企画して行い、毎日のように聖書の学び会も開かれています。神さまに喜ばれる教会、神さまの栄光が現れる教会になることを祈りつつ、これからも神さまに献げられたキリストの香りとなり、主の愛と福音を宣べ伝えられるようにお祈りください。



2022年5月4日 野外BBQ 伝道

教会から離れる子どもたち

はたなかひろと
 教育局長 畑中洋人

理事の声



「ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」(ヤコブ1章21節)

今年の6月にアジア福音同盟の主催でD6ファミリーカンファレンスがオンラインで開催されました。すべての講演がアジア各国の同時通訳付きという画期的なものでした。その中で私は「クリスチャン両親と信仰・教会から離れる子どもたち」(講師キヤロル・バーニール)の分科会に出席しました。別の方の講演で、教会に集っていた子どもたちの3分の2は教会から離れてしまっているという報告がありました。若者たちの教会離れは、アジア全体そして恐らく世界の多くの教会で起きているのです。分科会は同時に6つ開

催されていましたが、日本からの参加者の大半が「教会から離れる子どもたち」を選んでいたので印象的でした。

講演は、ある1人の女の子についての話から始まりました。その子の父親は牧師で幼い時から教会学校に通い、毎夏バイブルキャンプに参加し、やがてキャンプで教えるようになり、15歳になると仲間と教会を回って賛美をしていました。その子が10代後半になると牧師と親に「私はあなたの神を信じていません」と言って無神論者になったのです。大学ではクリスチャンに信仰から離れさせようと疑問を投げかけ、無神論の宣教師のようになりました。講師は言いました。「これは私のことです」。「多くのキリスト者はこれを聞くと、親の信仰に問題があったと考えるでしょう。しかし私の親は謙遜で模範的なクリスチャンで、家庭は愛に満ちていました。このような家庭に育っても、子どもは無神論者になりました」。

私たちは子どもたちが教会を離れるのは、親もしくは教会を

に問題があると考えたのではないのでしょうか。教会から離れた子どもたちを持つ親は自分を責め、また子どもたちを育てられなかった教会は自らを悔いませ

す。その結果、今いる子どもたちを失ってはならないと次世代教育に力を入れます。もちろん大事なことです。しかし私たちは無意識のうちに教会を離れた子どもたちに、失敗作あるいはこの世に敗北した人たちというレッテルをはってしまっているように思います。私には3人の子どもがいます。2人は受洗しましたが3人とも教会生活から離れています。これを聞かれると皆さんの中で私の信仰、また親としての評価は一気に落ちることでしょう。そんな私が教団の理事、ましてや教育局長をしているのです。私自身「主よ、私のような者がよいのでしょうか」といつも思わされています。また子どもたちが教会を離れると、子どもたちのことを祈禱課題にあげて、それを躊躇(ちゅうちよ)してしまう自分がいます。教会を離れた子どもたちも、自分たちがどのように見られてい

るかを知っています。

この講師は恵みによって教会に戻ってきました。彼女は自分自身の体験からこう証します。「みことばには足があるのです」。彼女は教会を離れる前にみことばと聖書の価値観を植えつけられていたことよって、戻って来られたということでした。実は教会から離れた子どもたちは、教会に戻ってくる人が多いというデータがあります。彼女はこう締めくくりました。「すべての放蕩息子には希望があります」。教会から子どもたちが離れると私たちは敗北したと考えます。しかしそうではなく私たちは、みことばを植えつけられている彼らに希望を抱き続けるのです。そして主が導いてくださるようにと彼らのために祈り、彼らも教会の希望の光となる可能性をもつ一人ひとりであるを期待して待つのです。と同時に、今教会に集う子どもたちの心にみことばを植えつけることがいかに重要であるかを再認識させられます。

(石神井福音教会牧師)

No.490
国外宣教

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。マタイ 24 章 14 節

宣教学研究会 『和解と癒し』 を読んで

国外宣教委員

しもだ ようすけ
下田 陽介

今回は、「宣教学研究会」⁽¹⁾で取り上げた書籍『和解と癒し』21世紀における世界の伝道・宣教論』(キリスト新聞社、2010年)⁽²⁾をご紹介します。

本書の特徴は「和解」「癒し」というテーマが、世界宣教会議が開催された2005年という時代を背景に、世界の具体的な現実に向けて語られている点にあると思います。私たちは2021年7〜8月という時期にこの本から学びましたが、その時にはミャンマーにおけるクーデターがありました。ミャンマーは現在も混乱が続いていますが、いつか復興を目指して歩み出す時がくるはずですが、その時には必ず、霊的な面での助けも必要になります。聖書は、争いや暴力の記事と和解の物語で満ちています。そこに私たちは希望を持っています。しかしミャンマーの争いの歴史を知れ

ば知るほど、教会は何を語るこ
とができるだろうかと考えさせ
られます。

また「癒し」については、霊
的な癒しということを長い間無
視してきた西欧キリスト教の反
省から始まります。聖書は確か
に、イエスが悪霊を追い出した
こと、病を癒したことを伝えて
います。それらの出来事を事実
と受け止め、向き合おうとする
取り組みです。それは、近代医
学を拒否するということではあ
りません。WCCは健康の定義
を次のように定めています。「健
康は、個人と社会が、心理学的・
精神的・霊的・経済的・政治的・
社会的に満たされた状態であ
り、人間同士、また自然環境や
神と調和して存在している動的
な状態を言う」⁽³⁾。この理解に
立つとき、病の人を癒すために、
教会が果たすべき分野が確かに
あります。私たちは今、コロナ
ウイルスの問題と向き合ってい

ます。コロナ禍では貧しい人々
がワクチンを接種できないと
いったことや、孤独といったこ
とも問題となりました。近代医
学だけでは、「癒し」は成し得な
いことを実感しています。例え
ば、病で動けなくなった人の家
の前に水と食べ物置く、とい
うことを教会が行うとします。
おろろくそれだけでは、その人
は癒されないでしょう。しかし
その水と食べ物、実質的な助
けになります⁽⁴⁾。さらにその
ような愛の奉仕は「あなたに生
きてほしい」という重要なメッ
セージを発しているのです。

II コリント5章19〜20節「
神はキリストにあって、この世
を自分と和解させ、背きの責
任を人々に負わせず、和解のこ
とばを私たちに委ねられました
。こういうわけで、神が私た
ちを通して勧めておられるので
すから、私たちはキリストに代
わる使節なのです。…」

敵を愛せよと教え、病を癒さ
れたキリストの、その和解と癒
しは十字架の上で頂点に達しま
した。聖書はそこで終わらずに、
その「ことば」を携えて出かけ

て行った弟子たちの物語を伝え
ています。本書を読み終えて、
私たちがまたキリストの使節で
あるという責任をあらためて覚
えるとともに、教会にしかでき
ない働きがあること、教会には
多様な働きの可能性があること
を感じています。

(久留米聖書教会 牧師)

【注】(1) 国外宣教委員会では、宣教師たちも交えて「宣教学研究会」を定期的に開催しています。世の光2021年9月号の8頁もご参照ください。(2) この本には、①「和解のミニストリーとしての宣教」②「教会の癒しの宣教」という二つの文書が収録されています。これらの文書はいずれも、2005年に行われた世界宣教会議のためにWCC (World Council of Churches、世界教会協議会) がまとめたものです。WCCとは超教派的な教会の運動であり、自由主義の立場のキリスト者が多く参加しています。私たちにとってはあまりなじみのない内容であり、そのような書籍からも学んでみよう、ということが本書を選んだきっかけです。(3) 『和解と癒し』21世紀における世界の伝道・宣教論』97頁。(4) 『危機の神学「無関心というパンデミック」を超えて』(文藝春秋、2021年) 39〜42頁。疫病下では、このような相互の助け合いが高い生存率につながると指摘されています。



タンド

南アフリカ 委託派遣宣教師 (パウロ宣教会)

キム ファン パク チョンオク
金 煥・朴 貞玉

タンドは現在29歳で南アフリカのゴザ部族出身の青年です。ネルソン・マンデラ氏もこの部族出身です。タンドは東ケープ州のウムタタという町で生まれましたが、彼が生まれた時、父親は18歳、母親は14歳だったそうです。もちろん彼の父、母は結婚していない状態でした。こういったことは南アフリカではごく普通のことです。社会的に特に問題視されません。生まれてから5歳になるまで彼は卓球の球のように父の家と母の家を行ったり来たりする身となりました。5歳になった時から母方の家に預けられました。大人たちは彼を学校に行かせず、家畜の世話をしよう命じました。牛が20頭くらいで、羊や山羊も結構ある酪農家でした。野宿は普通で、家畜を失ってしまったり時には彼はすごく鞭(むち)で打たれたということでした。15歳になるまで彼は読み書きができません。成長しませんでした。

彼はそこから脱出することを決意しました。母方の祖母と叔母が遠くから見守る中、彼は逃げ出し、遠く離れている父方の叔父のところに行ったそうです。数日後、実の父親にも会いましたが、父はすでに他の女性と結婚し、彼を遠ざけていました。その後、彼は孤児院に入れられました。幸い、その時、小学校6年生に編入することができました。そこで彼は「2人の天使たち」に逢うことができました。白人の女性教師と5歳年下の白人の女子生徒に出会ったのです。彼女たちは彼に心込めて英語を教え、読み書きも教えてくれたということです。彼に神の憐みと導きが現れました。その後、彼は何かの理由で学校を退学しましたが、その5年間で彼の人生にとって最も幸せな時代だったそうです。体が大きく力もある彼は学校の時からスポーツが上手で、ラグビーやサッカーの選手として活躍しました。



中央がタンドさん

から私たちの宣教農場を紹介してもらい、昨年9月から共同生活に入りしました。ここに来る前、Y W A M (Youth With A Mission) という宣教団体のDTS (弟子訓練学校) にも参加したそうです。彼は将来フィリピンで半年くらいスポーツを通して宣教活動をするというビジョンをもってあります。私たち「イエスの小さいしもべたち」は彼のために祈り、彼を支えて行くつもりです。もしかしたら、彼はこの共同体の第1号宣教師になるかもしれません。

「神はみこころのままに、あなたにうちの働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。」(ピリピ人への手紙2

章13節)
「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。」(ローマ人への手紙8章28節)

宣教師近況・祈禱課題

◆長谷部愛実(タイ・チェンマイ) 国としての7月の大幅規制緩和を受け、チェンマイにも来訪者が増えています。2020年10月に開始した宣教師館での日本語教室も、主催の日本バプテスト海外伝道協会の方々を迎え開校式を予定しています。協力宣教の祝福をお祈りください。

◆矢田紫野(モンゴル) 6月からの夏休みの間、長期間田舎に行ったり家の仕事をしなければいけなかったりで、学習センターに来る子どもたちの数は減りました。ただ8月も半ばを過ぎると新学期の用意のために戻ってきます。いつもとは違うスケジュールの中でも子どもたちがイエスさまにつながり続けられるように。



オンライン奉仕

モンゴル ^やだ ^しの 矢田 紫野 アムガラン聖書教会

この原稿を書いている現在、2年半ぶりの一時帰国中です。皆さまのお祈りに感謝いたします。

久しぶりに帰国すると新鮮に感じるものの一つは街で見かける人々の姿です。ウランバートルではいつ外出しても街中に子どもや青年があふれています。一方日本の地方都市の古い住宅地に滞在している私は、日中外出すると子どもはどこ？と思うくらい姿が見えません。中高生もそうです。そもそもモンゴルは14歳以下の人口は31%、日本は12%なので、違いがあるのは当然なのですが、普段から子どもと接しているのでつい気になります。ただそれ以外に大きな理由は、モンゴルの公立校は朝授業、昼授業、夕授業など2、3部制をとっているのです。小学生でも高校生でも一日中学校にいるということはありません。そのため授業がない時間の子どもたちが街中にいるのです。帰国当初あまりにも子どもが見当たらないので心配になりましたが、夕方の下校時刻には彼らの姿を見かけるようになり、少し

ほっとしました。

昨年5月から日本の教会向けにオンラインでの宣教報告を行なってきましたが、逆に私自身が一時期帰国しても日本から週に1、2度オンラインでモンゴルとつなぎ、連絡を取り合っています。学習センターの時間帯につなぐと「先生、戻ってくる時お土産買ってきてね」と子どもからおねだりされたり、ワーカ―たちから、誰それのお兄さんが鉄棒から落ちて背骨を痛めた等の近況を聞き、一緒に祈ったりしています。またプロジェクトの会計報告作成などは日本でもできます。先日は、このころ教会学校の担当者が1人になり奏楽者なしで賛美しているということだったので、日本で私が奏楽して賛美する動画を作って送るようになりました。現地でノートパソコンとプロジェクトをつなぎ、こちらからライブで教会学校に顔を出すことも可能でしょう。時代は変わりました。「自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまで続けなさい。そうすれば、自分自身と、あな

たの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。」(1テモテ4章16節)。あらゆる形で、可能な限り、どのように働きを続けていくのかを模索しながら歩んでいます。



夏休み中の学習センターに出席の3兄弟

◆浜田献・陽子 (ブラジル)

乾期に入って新型コロナウイルスやデング熱が再び流行り始めています。7月の休みを挟んで8月から再開する日本語学校とヴァルゼンボニータの開拓が祝福されるように。病床で信仰決心された9歳の上野さんの今後の信仰生活のために。

◆河野晃・美千代 (タイ・バンコク)
日本国内にて首と腰の治療と

リハビリを続けています。皆さまのとりなしのお祈りを心から感謝いたします。続く治療と私たちが不在中のバンコクグレイスチャーチの宣教の働きが守られますようにお祈りをお願いいたします。

◆林武志・趙伶儂 (東南アジア)

オンラインがピアノを教えている学校で、3年ぶりに12人の子どもたちがピアノ・リサイタルを行いました。妻が教えている8名の子どもたちや林家の子どもたちは、緊張しながらも一生懸命演奏しました。最後に妻も演奏しました。音楽学校を通して、東南アジアの生徒たちとそこご父母が讃美歌や真の神さまを知ることができそうです。お祈りください。

◆金煥・朴貞玉 (南アフリカ)

3回に渡る宣教訪問者受け入れの後、夫婦とも疲れを覚えておりましたが、現在は回復しております。7月12日から8月31日までの一時帰国の準備をしております。目的は南アフリカ共和国のビザ更新と家内の健康診断、および薬の補充です。



～証し～

主の思いが注がれる時

塩尻聖書教会

キム やすみ

人は自分の弱さを思い知らされる時があります。異文化においては特に多いことかもしれません。しかしそのような時にこそ、主がご自身を現わしてくださり、宣教は主の働きであることを私たちは知ります。そのような経験をお証ししていただきました。(コリント第二 12:9) 国外宣教委員会

5年前の夏、神学生だった私は同盟基督教団の女性教師の働きを見たいと願い、モンゴルの矢田紫野先生の下で3週間ほどインターンをさせていただきました。現地では、フットワークの軽い先生に付いて回り、本当に多くの出会いと学びの機会が用意されていました。

しかし、その充実した日程の裏で、私の心は疲弊していきました。それは、宣教師の働きに関心があっただけで、現地に特別な思いがあったわけではなかったためです。果たしてここに来て正解だったのか、なぜ私はここにいるのかと、鬱々とした日々を過ごしていました。神さまがこの道を開いてくださった、ただその事実だけにすぎり過ごす日々でした。

そのような中、ある教会の洗礼式に参加しました。2時間かけ川へ行き、まずご飯を食べ礼拝をした後、喜びと笑いあふれる洗礼式が行われました。それで終わりかと思いきや、川遊び、ピクニック、岩登り、昼寝…とのんびり過ごす現地タイムが始まり、帰宅は20

時でした。何をすることもなく、ただ彼女たちと笑いながら一緒に過ごしたこの時間。いきなり参加した私を自然に受け入れてくれた教会の交わり。それまでは、この地に対する思いがないことへの後ろめたさが重くのしかかっていましたが、交わりに加えられ、ただ身を委ね一緒に過ごすうちに、その重圧から解放される経験をしました。

これをきっかけとして、注目すべきは、私の内にこの地への思いがあるかないかではなく、私の思いを超えて働かれる主、私をこの地に導かれたのは主であること、そしてその主に信頼しそこにいる時、あらゆる出会いや出来事を通して、その地に対する主の思いが、じつくりと、でも確かに私の内にも注がれることでした。この他にも、ここに来なければ気付かなかったこと、見出せなかった答えがありました。すべてはこの経験があったからこそのものであり、それはなお、今の私の歩みにおいても生きています。

(塩尻聖書教会 伝道師)

国外宣教献金報告 (2022年6月末現在)

宣教師指定献金	↓期待値 50.0%	
4,300,002 円 (42.2%)		予算 10,200,000 円
国外宣教献金 (全体)	↓期待値 50.0%	
16,596,692 円 (48.5%)		予算 34,250,100 円※
<small>※収入予算 (35,671,300 円) から積立て金取り崩し分を除いたもの。</small>		
国外宣教デー献金		
983,250 円 (49.2%)		予算 2,000,000 円

緊急オンライン宣教報告会 & 派遣の祈り 感謝報告

24年ぶりの急激な円安もあり急遽開催した5回の宣教報告会(6月)と派遣の祈り会(7月)に、延べ総計600件以上の方々に参加してくださいました。宣教師からのみことばと最新情報、参加者からの励ましと質問が行き交い、全員による一斉の祈禱の時を持ちました。主が大胆に宣教を進めてくださることを実感したひとときでした。感謝と共に報告いたします。(委員会)

国外宣教デーへのご協力 感謝

去る6月5日の国外宣教デーにおきまして、諸教会の皆さまのお祈りと献金を心から感謝いたします。6月末現在、983,250円の献金をいただきました。これからお送りくださる皆さまも感謝いたします。よろしくお祈りいたします。(委員会)

教師候補者研修会報告

教職教育部員 やまもとやすよ 山本恭代

教職教育部

2022年5月23日、教師候補者研修会を石神井福音教会において開催しました。一昨年はやむなく断念、昨年はオンライン、そして今年は2年ぶりの対面式の開催となりました。TCU、TCU大学院、神戸改革派神学校、新潟聖書学院から教師候補者14名が集い、主講師の朝岡勝理事長から「私の考える教師像」という題で2回の講演を受けました。「世の光」7月号で研修会の概要を掲載いたしましたので、今回参加者の感想を抜粋して紹介します。

■開会礼拝で語られた説教を通して、神の召しがただただ一方的な恵みであることを改めて覚えさせられた。それがなければ、献身者（神学生・教師候補者）としての私は存在しない訳であり、愚直にその原点に立ち続けることが大切であると教えられた。

■講演の中で印象的であった点は、朝岡先生が「同盟基督教団の教師」のアイデンティティ

を明確に示されたこと、そして何よりも、先生自身が一教師としてその事を誇らしく思い、堂々と語っておられたことである。同盟基督教団のアイデンティティとは、講演中の言葉を借りて言えば「宣教的霊性」であり、それは同盟基督教団の理念の三本柱である「聖書信仰」、「宣教協力」、「合議制」という言葉によっても説明され得るのであるが、今回の講演でこの三本柱が単なるスローガンなのではないということをも十分に理解することができた。

■今与えられている神学生という時間が「教師であるために」その備えの時でもあり、また教師になってからも、聖書から、人から、世界から、学び続けていく事が大切であると教えられた。また備えの時、学び続けていく事の中で、自分自身が主に用いられやすい器となるために、御霊の実によって整えられて、実を結ばれる者として、御言葉に聴いて従うものでありたいと思った。



講師 朝岡勝理事長

■同盟基督教団が大切に継承してきた教師のおもな務めは、「教える務め」と「治める務め」の2つであることを知った。…この2つの務めを十分に行うことができる教師が按手を受けた正教師であり、この2つの務めを正教師のもとで補佐する教師が補教師である。…朝岡先生が語っていたことの中で、「これはあくまでも資格ではなく務め」ということは肝に銘じるべきであると思った。実際に教会に仕えていくことが大前提として与えられる任職であって、決して有利な立場を得るための任職であってはならない。その上で、同盟基督教団のことを様々な角度から知るように努めたいと願う。

■近い将来、補教師になってからの務めは、伝道、牧会、説教、教育、奉仕など多岐にわたり求められるものが増えていく。また、補教師は正教師の前段階という認識は過去のものとなり、補教師も1つの職務としての働きもまた期待されているのだ。聖書についてはもちろん、人間を学ぶこともまた同じように必要である。深い人間理解を身につけ、教会員との関係を築くこともまた、補教師の務めである。…そのため、導く群れに注目し理解できるように洞察力を身に着ける必要がある事が分かった。

■講演で印象的だった事の1つは、自分の務めを絶えず確認することの大切さです。牧師に求められるものが多様化し、牧師の務めも広がりを見せている時代だからこそ、務めの〈中心〉をよく確認し続けようというお話でした。務めの〈中心〉は何よりも みことばに仕えることです。その〈中心〉を絶えず把握しておくことによって、〈中

IT委員会

「お知らせ機能」追加!!

ITしてますか?こんにちは。IT委員会です。IT委員会では、教会のホームページ作成支援を引き続き行っております。教会支援ホームページは、現代には必須のスマートフォン対応、SSL化セキュリティにも対応しております。教会ホームページがほしいけれど、どうすればよいか分からなくて困っているという教会はぜひ導入をご検討ください。

さて、今回は従来の教会支援ホームページに「お知らせ機能」(オプション)を追加いたしました!お知らせ機能を使えば、「今週の説教の投稿」、「伝道集会の案内」、「ブログ」などを写真付きで使うことができます。使用マニュアルも用意しておりますので、パソコンで文章を打ったり、画像を挿入したりすることができる方であれば簡単に行うことができます。ただし、更新していないとホームページを見た人が、「あれ?この教会やってないのかな?」と思うので、投稿は毎週、もしくは毎月の更新をおすすめします。

教会支援費受給教会には無料で機能をお付けします。またその他の教会は、お知らせ機能をオプションで付けても年間わずか3000円(基本料金2,000円+お知らせ機能1,000円)でご利用いただけます。ぜひご検討ください。時代は、「1教会1ホームページ」です。ホームページにより、みなさまの教会の宣教がますます豊かになされることを願っています!

IT委員会:後藤正樹(麻布霞町教会)

サンプルホームページ: <https://sample-2.domei.church/>



ドメインはすべて〇〇.domei.churchとなります。〇〇に教会名が入ります。

ホームページのトップに最新の3件のお知らせが掲載されます。お知らせの画像の下には、お知らせの最初の文字が数文字表示されます。

スマートフォンでは最新の3件が縦並びに表示されます。またメニューに「お知らせ一覧」があるので、そこからすべてのお知らせを見ることができます

お知らせ



暑いですね
毎日暑いですね。かき氷食べたい。



今週の説教
今週の説教は



明日は、
明日はお楽しみ会です



教職部部長の北條輝先生と参加者

研修会を経て、教師候補者である神学生たちがますます相応しく整えられていくことを祈ります。教師候補者のためにお祈りと、教師候補者支援献金のご支援をよろしく願っています。(湖西キリスト教会)

■同労者に会えないわびしさを感じていた中でこの研修会に参加し、講演の内容とともに、同労者たちの存在に大変励まされた。宣教協力のスピリットを忘れず、同盟基督教団の教師へと召されていることを感謝しつつ補教師試験に臨みたい。

8頁4段目から続く
心)からは遠く思える周辺のことも、(中心)との関連性を見ながら位置付けることができ、それをよく見極めるための知恵を祈り求めたいと思いました。

ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い（第1回）の報告

「教会と国家」委員会

「教会と国家」委員会委員

たまがき たすく
玉垣 資



今年の2月から、ウクライナの領土を巡ってウクライナとロシアの戦争が始まり、5か月が過ぎました。戦闘によって多くの町が破壊され、双方の兵士だけでなく、多数の一般市民が命を落としています。国連UNHCRのサイトによると、国内で避難生活をする人々は1200万人以上、避難を強いられ近隣諸国に逃れた人々は、870万人以上とのことです。この21世紀にロシアが大規模な軍隊を繰り出し、隣国ウクライナとの戦争を始めたことに、

驚かれた方も多いことと思えます。ウクライナについて注目されるようになりましたが、委員会では、ロシアや東欧諸国についての情報はあまり知られていないことを覚えめました。そこで東ヨーロッパで宣教師としてご奉仕された石川秀和師を講師として、「ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い」を開催しました。全2回の予定で、第1回目は「ウクライナの政治情勢」をテーマとしました。

1923年にウクライナを含めて成立した共産主義国家であるソビエト社会主義共和国連邦が、その後70年間（東欧諸国は40年間）の歴史を経て、1991年に崩壊した背景と今回のウクライナでの戦争の背景について講演いただきました。

ソビエト連邦崩壊の背景としては、計画経済による経済の停滞や貧困、言論統制の恐怖、政治中枢部の腐敗と民衆の貧困、神を否定した無神論国家の霊的貧困などがあること。

また、今回のウクライナ戦争の背景には、プーチン大統領

によるソ連時代の権力大国の自負、ウクライナを巡るNATOとの暗黙の了解の反故、ソ連時代から続く共産諸国の民族移動（捕囚）などが挙げられ、政治力学の実態としては、情報戦を繰り広げながらもウクライナの豊かなエネルギーと食料の確保のために動いているのではないかとのことでした。

また、今、石川師はウィーンに滞在されていますが、関わっておられる「ウクライナ難民を支援する会」の活動についても報告いただきました。石川先生と旧知の指導者たちが奉仕するキリスト教団体（ルーマニア、ポーランド、モルドバ）が、人道支援と共に霊的な支援をしていること。それは、ウクライナ人だけの支援だけでなく、ロシア人への宣教も視野においた働きであるとのこと、地上の争いを超えた神の国の視点を教えられました。

今回のセミナーを通して、東欧諸国には複雑な歴史があり、学び続ける必要があること。また長年の無神論の悲惨な影響と霊的な渇きがあること。宣教の

必要について覚えめました。録画もありますので、ぜひ、ご視聴ください。
(高槻聖書教会牧師)

○第1回「ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い」(全2回)【講演題】「ウクライナの政治事情」

https://youtu.be/_wIWLftb9HQ

○石川先生が関わる「ウクライナ難民を支援する会」のホームページ

<https://www.aid4ukraine2022.com/>

教団ニュース

《行事》

- ◇補教師研修会 9月5日(月)～8日(木) オンライン(※3年次生は浜名湖バイブルキャンプ)
- ◇伝道懇談会 10月3日(月)～4日(火) つま恋リゾート彩の郷
- ◇秋の研修会 10月4日(火)～5日(水) つま恋リゾート彩の郷

《会議》

◇理事会

- 9月5日(月) 教団事務所
- 10月3日(月) つま恋リゾート彩の郷

《2022年度教師試験 答案の受付について》

同書類を9月26日(月)(当日消印有効)まで、教団事務所(教団理事長宛)で受け付けています。必ず配達記録の残る方法(書留等)を利用してご提出ください。

詳細については、教団ホームページの「教師試験関連文書」より「公示2022年度教師試験」を参照ください。

《出産》

おめでとうございます。

◇武田将幸師・良実師夫妻(北海道宣教区・新札幌聖書教会)に、5月29日、第一子長男「永時」くんが誕生しました

《訃報》

謹んでお知らせいたします。

◇奥深山みちる師(北陸飛騨宣教区・高山祝福教会)のお父様、井上明様は6月20日に召されました。84才でした。

◇河野 優師(支援教師)のお母様、河野三恵様は7月6日に召されました。65才でした。

《訂正》

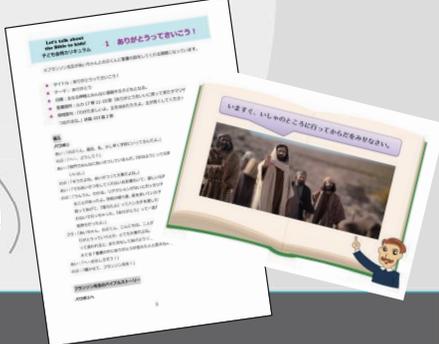
祈りのネットワーク掲載情報の変更等のお知らせ

- ◇29頁 グレイスハウス教会 住所の訂正
訂正：〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字関谷6-3(牧師館)
- ◇96頁 神学生のために 神学校名の訂正
菊池麻祐(1・八千代聖書)
訂正：東京神学大学大学院

子ども会用カリキュラム『フランソン先生のバイブルストーリー』HPにて発刊!

月1回子ども会をひらいてみませんか?

- ★はじめて聖書にふれるおともだちにお話できる10回分のカリキュラム(イースターとクリスマス除く)。順不同で子どもたちの状況にあわせて選んで使える。
 - ★小学生のあいちゃんとのふくん、フランソン先生の台本形式。フランソン先生がバイブルストーリーを語ってくれる。
 - ★台本に合わせたパワーポイントの教材付き。映像を映しながら、紙芝居風に。印刷して使用もできる。
 - ★スタッフ一人がすべて読む、あいちゃんとのふくんのことはほかのスタッフや子どもたちが読むのもいい。
- 子ども会で何を話していいかわからない! 準備の時間がない! といったハードルを越え、子ども会を開催しましょう。



ホームページは同盟教会教育部で検索!

教会教育部: <https://www.edu-domei.net/教会教育部/子ども会用カリキュラム>

富山聖書教会

献堂の恵み

念願の新会堂が与えられて

北林行雄 富山聖書教会 牧師



新会堂外観

私たちの富山聖書教会は開拓から27年、このたび念願の新会堂が与えられました。1995年4月に牧師の自宅を開放して礼拝を持ったのが始まりです。英語クラスを始め、そこに集う人たちを対象にした短い聖書の学びと祈りの中から、信仰を持つ人が現れて来ました。教会は富山市の田園地帯にあり、大農家が立派な屋敷を構え、神社や仏閣が多く存在しています。一

般家庭で礼拝をしているので、「まがいのもの」の宗教と言いつらす人がいました。正当なキリスト教会として証するためには独立した礼拝堂が是非必要となりました。

2012年に吉持章先生を特別伝道礼拝の講師としてお招きしました。その時に会堂用地のことを相談すると、吉持先生は広範囲な地図を見て、教会の場所、空港、高速道路、富山県を横断する道路を確認して「ここは良い所です。ここに建てなさい。」とおっしゃいました。そこで私たちはこの地域の土地を与えられるよう皆で祈りました。その4年後、牧師が会堂用地のことを祈りながら散歩していると、バス路線に面し、近くの目立った場所が更地になり、売り出され、売値も妥当でした。翌日、教会の祈禱会で説明し、直ぐに不動産会社に連絡し、購入の手続きを開始しました。交渉が順調に進み、2016年9月に会堂用地を正式に購入することが出来ました。富山市立の公



献堂式

民館に隣接し、一等地でした。

2018年になると教会員の中から新会堂建設の機運が出て来ました。「新会堂は地元の設計士、地元の実業家が良い」との先輩牧師のアドバイスがあり、富山県在住の設計士と建築会社が導かれるように皆で祈りました。同年5月亀田キリスト教会の松下展久牧師の紹介でクリスチャン設計士が導かれ、毎週水曜日、祈禱会後に新会堂の打ち合わせをしました。建築会社も同じ婦中町に「傑出した匠の業」の建設会社に出逢い、その社長さんが喜んで工事を請け負ってくださったのです。感謝!

新会堂は昨年12月に完成し、今年4月30日に献堂式を行います。

した。献堂式には朝岡勝理事長に記念説教をしていただきました。北陸飛騨宣教区や近隣の諸教会から多くの方々が出席してください、祝福された献堂式をすることができました。皆さまのお祈りとご支援を心より感謝いたします。

最近の地域の人々の反応ですが、以前のような嫌がらせは無くなり、新会堂を見たいと訪れる人も現れて来ました。この会堂が福音宣教のため、更に用いられますようお願いいたします。

(富山聖書教会牧師)



献身の証し



高橋 渉
たかはし わたる

祈りとみことばによって

私は牧師家庭に生まれ、自然と神さまのこゝを受け入れてきました。はつきりと罪が示されて信仰告白をしたのは、小4の夏の浜名湖バイブルキャンプでした。自分ではどうすることもできない私の罪を贖うために、イエスさまは私の身代わりに十字架にかかって死んでくださったのだということがわかり、罪を告白し、心の椅子にイエスさまをお迎えする祈りをしました。すると、心の中の黒い塊がスッと消えたのを感じました。「教会学校で聞いてきたみことば（一ヨハネ1章9節）は本当だったんだ」と赦された喜びと感動に満たされました。

中1の夏の松原湖バイブルキャンプでは、イエスさまに癒された盲人が大胆に主を証しする者に変えられたように、私も

主を証しするために生涯をささげていきたいと思い、献身の決心をしました。その後、明確な牧師への召しを受け取ってはいなかったため、中学校教員として勤めていました。フロンティア2009（青年宣教大会）に参加して、福音宣教と教会に仕えることが喜びであることを再確認し、牧師としての献身の招きに応じました。それから、「召しのみことばをはつきりと与えてください」と祈り求めました。2011年に教会での学びの中で出会った「破れ口に立つ者に」（エゼキエル22章30節）というみことばを召命のみことばとして受け取り神学校へ行きま

した。

ふりかえると、バイブルキャンプや宣教大会が信仰や献身決心のきっかけとなりましたが、毎週の教会学校や聖書の学び、教会や教団の祈りの中でそのような思いに導かれてきたことを思います。生駒から登別へ異動となりました。新しい地で、引き続き福音宣教に励んでいきたいと願っています。

（登別中央福音教会牧師）



金 正赫
キム ジョンヒョン

主は私の羊飼い

私は韓国のクリスチャンホームに生まれました。幼い頃から主日は教会で過ごし、洗礼を受けられる年齢になると、ごく自然な形で受洗しました。しかし実際の私は、形だけのクリスチャンでした。主日以外での家族や親戚の姿を見ながら、神さまの存在を否定し、教会から離れてしまいました。その後10年間は徹底した無神論者として生き、世の力に頼りながら放蕩生活をしてきました。母方の祖母と母はそんな私の為に10年間、毎朝欠かさず早天祈祷で教会の床にひざまずき祈ってくれていました。その祈りがあり、神さまのあわれみが与えられたとしか思えない出来事がありました。人生の虚しさを感じ、闇の中をさまよっているような私の心に、幼い頃に母がお小遣いをくれると言って暗唱させた詩篇23篇のみことばが浮かびま

した。その時、こんな私をも忍耐を持って待ち続けてくださる神さまの愛を深く感じ、み前に悔い改め、主に立ち返ることができました。その後、神学大学院へ進む準備をしている中、2010年短期宣教の時、みことばを通して日本宣教の使命を確信し、2013年韓国の総神学 神学大学院へ入学しました。韓国の教会で伝道師として仕え、2015年10月に家族と共に来日しました。川崎の招待キリスト教会に籍を移し協力宣教師となり、2018年日本同盟基督教団総会で補教師准允、指導や教育を受けて、今回の教団総会にて正教師按手を受けることができました。神さまからの召命を受けて14年目でした。今までもうめき声すら外に出せないほど苦しい時もありましたが、それらの時を通して、神さまは主だけが私の羊飼いであると確信させてくださったと信じます。これからも人生の一生懸命の羊飼い、主だけに最後まで忠誠しながら主の道に従いたい

です。

（チャペルマラナ牧師）

献身の証し

救いと献身の証し



山本 浩
やまもと ひろし

私が教会に導かれ礼拝に集うようになったのは、28歳の時、不慮の事故で友人を失うという試練にあった時のことです。目の前が真っ暗になり途方に暮れていた私を見て、両親が教会へ誘いました。

教会を訪れると、あるスタッフとの出会いが与えられました。その方とのカウンセリングの時間を通して、私は内側にため込んでいた様々な感情を吐き出すことができるようになり、心が軽くなっていく体験をしました。そんな中、教会に通い始めて半年ほど経った時、ふと年間聖句が目に留まりました。「神のなさることは、すべて時にかんがって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神の行うみわざの始

めから終わりまでを見極めることができない。」(伝道者の書3章11節)

私はこのみことばを通して、人生の主権者は神であることを確信しました。そして、すべての事が主にあつて意味ある事だと思ふようになりました。こんなにも素晴らしい偉大な神に、生涯をおささげしたいと強く思うようになり、洗礼を受けてクリスチャンになろうと決心しました。後に補教師准允、正教師按手と、身の回りの環境は大きく変わりましたが、あの時与えられた献身の想いが、いつも変わらず進むべき道を示してくれました。

私はあの事故をきっかけに救いへと導かれました。辛い経験でしたが、それはそうやってでしか罪の世から私を救い出すことができなかった神のご計画だったのだと思います。苦しみの中にある多くの人に、人生における試練とその先にある神の素晴らしい恵みについて、みことばと共に届けたいと願っています。

(上田聖書教会牧師)

あつまれDS とももキャン

9/23(金・休) - 24(土)

松原湖バイブルキャンプ

キャンプを通して皆さんの「友」を作りましょう。そして「友」と「共」に主から励ましを受けて、新しい一歩を踏み出しましょう! 講師の山本陽一郎先生のメッセージと、オンラインでは味わえない対面キャンプならではの楽しい企画をたくさん用意してお待ちしています!

参加費 標準:7,000円 | レイクサイドシオン:8,000円
(登録費3,000円を含む)

※ 部分参加の費用についてはお問い合わせください。
※ **「早割」特典あり!** 8月22日(月)までに申込みを完了した方には、1,000円のキャッシュバックがあります。ぜひ早めのお申込みを!! 車の複数乗り合わせ(3名以上)対象に**「相乗り割」**(上限1万円の交通費補助)があります。

参加対象 18~39歳の独身同盟青年

申し込み方法

- ① 下記申込みフォームに必要事項を記入し送信
<https://bit.ly/tomocamp> スマホはQRから
- ② 申込み者宛に送られるメールを見て、参加費を振り込む

申込み締切:2022年9月8日(木) 定員70名

※ ②まで完了しないと申込みとはなりません。キャンセルの際、登録費は返金されません。その他キャンセルポリシーについてはお申込み後メールにてご連絡いたします。

【講師紹介】 山本 陽一郎

- ・多治見中央キリスト教会牧師
- ・ラジオ番組「世の光」でバイブルメッセージを担当
- ・日本同盟基督教団教団理事・青少年局長

主催: 日本同盟基督教団 青年部 | お問い合わせ: 小川真(国立キリスト教会牧師) ✉ m.bach.ogawa@gmail.com

「教会と国家」委員会

平和祈禱会のお知らせ



- ・日時：8月11日（木・祝日） 10：30～12：00
- ・会場：横浜上野町教会（YouTube・Live 配信あり）
- ・講演題「和解、未だ成らずー中国のキリスト教にどのように向き合うか」
- ・参加申込みが必要です（peatixにてお申込み下さい。参加費無料です）
<https://prayermeetingpeace2022.peatix.com>
- ・問合せ先：日本同盟基督教団「教会と国家」委員会 担当：柴田智悦
 メールアドレス：chietsus@gmail.com

NONSTOP NEO 爆賛

わたしたちは賛美をとめることはもうできない

2022.09.19 MON 09:30 受付 16:00 終了

09:50 youtube 配信スタート
 10:00 オープニング 爆賛
1st 爆賛 10:15
2nd 爆賛 12:00 kids ぼくさん!
3rd 爆賛 13:30
 15:20 クロージング 爆賛

爆裂メッセンジャー
 入江告師 豊田神池キリスト教会牧師

現地参加 静岡 愛知 岐阜 三重 限定
 7/17(日) 21時～ 申込み開始
 (締切9月12日)

持ち物：聖書・参加費・マスク等
 中学生以上 ¥2000/先着40人 小学生以下 ¥500/先着10人
 (保護者同伴)
 昼食 スイーツ込み

YouTube参加 無料 参加人数制限無し
 7/24(日) 21時～ 申込み開始
 (締切9月17日)

問い合わせ先
 〒431-0404
 湖西市太田423 浜名湖ハイパルキャノン
 佐藤賢祐
 tehu123123@yahoo.co.jp 090-6180-6058

HBCホームページからの申込 <https://www.hbcamp.com/>
 主催：日本同盟基督教団 浜名湖ハイパルキャノン

結婚の証し

やまたひろと
山谷寛人

結婚の導きについての証し

1 出合いのきっかけ

妻とは私が初めて参加したK GK(キリスト者学生会)のキャンプで同じグループになりました。結婚如何によらず、同世代のクリスチャンとの学びや交わりはその後に続いていく幸いなものなので、機会のある方は進んで身を置いていくと良いのではと思います。その後特に何かあった訳ではなく再会したのは7年後、K GK卒業生会合宿の奉仕をした時でした。しかも妻は私のことを覚えておらず、写真を見せてやっと思い出したのです。

2 交際期間・結婚への導き

そのようなわけであり印象の良くない再会をしたのですが、共に奉仕をする中で徐々に相手の良いところに気が付くよ



結婚式にて

うになりました。私が率直にその旨を伝えたところ、交際を視野に入れつつ、お互いのことを知る期間を持つことになりました。この期間は、自分自身の人格形成を振り返る助けになる本や結婚に関する信仰書などを一緒に読み、大切な事柄を共有できた有意義な時だったと感じています。

問題も複数起こりましたが、主が祈りに応えてその都度助けをくださり、対話する中で解決に導かれていきました。「主が2人の関係を守ってくださった」という経験が積み重ねられていくうちに、彼女との結婚が主の導きであると確信するようになり、結婚を申し込みました。

3 その後(近況)

この世において「価値観の違い」は大きなすれ違いの理由の1つですが、多くの先輩クリスチャンから教わった通り、結婚後に気づく互いの違いは山の如しです。神さまがそれぞれ違う者を作ったのですから、その違いを慈しみ楽しむようにしたいと思います。私たちが愛なのではなく、神が愛であることを忘れずに、イエスさまに向かって成長していきたいと願っています。

(高岡福音キリスト教会伝道師)



コラム「信・望・愛」原稿募集

牧会の現場で経験した「信仰・希望・愛」に満ちた教職者からのお証しを募集しています。

原稿の文字数は600～700字です。写真を掲載することもできます。

詳細は総合出版部の榊原康成に問い合わせください。

シティリジョイスチャーチ (cityrejoice-ch@kcf.biglobe.ne.jp)



救いの証し



豊橋福音聖書教会員

なかやひさのり
仲谷久典

私はキリスト教とは無縁の4

人家族の長男として生まれま
した。幼少の頃、自分や両親や妹
がいつか死ぬと思うと無性に悲
しく、夜になると布団にくる
まって泣いていました。なぜ人
は死ぬのかと、幼心に考えてい
ました。どうせ死ぬのだと、勉
強も仕事もやる気が出ず、遊蕩
三昧。職を転々とする中で、心
の病に罹ってしまい、精神科病
棟に7年程入院を繰り返すは
めになりました。生きる意味、
死んだらどうなるか、神はいる
のか、こんなことを考えながら
過ごしていました。

今振り返ると、この頃から神
さまは信じるための準備をされ
ていたのかと思ひ、無駄でない
どころか恵みに思えます。そ
の後仕事に就きましたが、不安

定な心の状態は変わらず、ある
日、どこかで読んだ「すべて疲
れた人、重荷を負っている人は
わたしのもとに来なさい。わた
しがあなたがたを休ませてあげ
ます」(マタイ 11章28節)がすつ
と入って来て、教会に電話し、
牧師に話を聞いてもらうことに
しました。

牧師と聖書の学びをする中
で、身も心もぐちゃぐちゃに
なったのは、神はいないと決め
つけ自分中心に生きてきた結果
だと気づき、自分の罪を認め、
イエスさまを唯一の救い主とし
て信じました。しかし、何年経っ
ても変わらない自身を見た時、
「本当に信じているのか、救わ
れているのか」と不安を覚える
ようになりました。しかし神さ
まは、救いの基はみことばに置
きなさいと、「この恵みのゆえ
に、あなたがたは信仰によって
救われたのです」と教えてくだ
さり、不安が確信に変わりました。
恵みによって救われたのだ
から、恵みによって成長させて
くださると信じ、歩んでいます。

奉仕者募集!

8月中旬～9月3日の奉仕者が必要です。

- キッチンワーカー (食事作り、片付け)
- グランドワーカー (掃除、集会準備、整え)
- ★ 団体のご利用があるため、複数人の奉仕者を祈り求めています。詳細は、お気軽に松原湖バイブルキャンプにお問合せください。



ご利用ください! 修養会 学び会 リトリート

家族、グループ、教会で。料金等、詳しくはHPをご覧ください。



シオン2人部屋



シオン8人部屋



MATSUBARAKO
BIBLE CAMP

松原湖バイブルキャンプ

384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里4912
TEL 0267-93-2347 ① info@matsubarako.com

(20Pから)

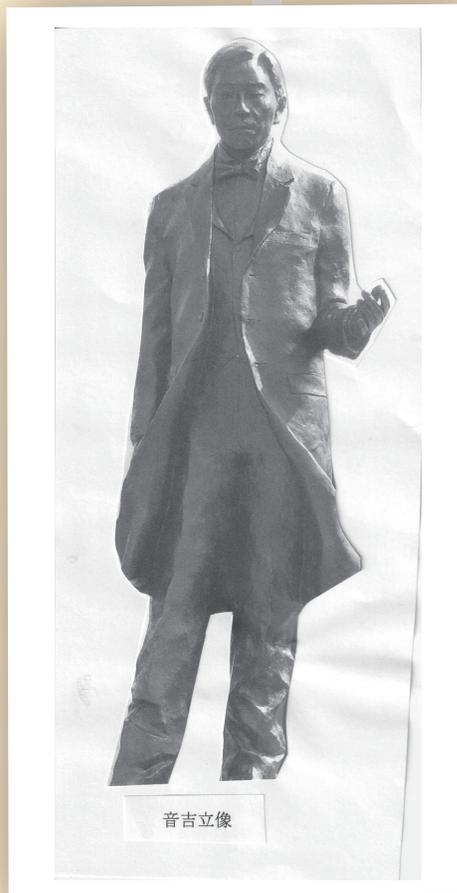
そこには、「ヨーロッパの自由を守るため、英国はロシアと交戦中であり、アジア地域に回遊しているロシア船を捕縛すべく、スターリング艦隊を派遣した。ロシア船が隠れているかもしれない日本の(すべての)港に入って調べたいのだが、それを日本政府が許可するかどうか伺いたい」などと書かれていました。この書簡は、日本側で英語→オランダ語→日本語に翻訳され、江戸に送られました。

翌日午前9時半ころ、スターリング艦隊は、長崎港外の、点在する島々と長崎半島との間の、静かな場所に導かれて投

日英和親条約締結の立役者

長崎での音吉は「白服姿の通弁官」として、交渉の全権を幕府から委任された長崎奉行、水野筑後守忠徳と提督との間に立ち、堂々と英語から日本語へ、日本語から英語へというように、ひとりで両国のための通訳をしています。長崎奉行も音吉を信頼していたようで、「日本人乗組罷在、阿蘭陀通詞は不用之旨申聞、右之者万端通弁仕」と、外交交渉の言語としてオランダ語ではなく、英語と日本語が使われたのです。

わずか3回(10月4日、9日、14日)の公式会談の結果、長崎と函館に英国籍船の入港許可を含む、7条からなる日英和親条約(協約)が成立しました。締結前後の詳しい経緯については、徳富蘇峰の『近世日本国民史 開国日本(四)』の第10章と11章、週刊絵入り新聞Illustrated London News(『描かれた



音吉立像

幕末明治：イラストレイテッド・ロンドン・ニュース、日本通信、1853-1902』金井圓編訳、雄松堂出版、1973、6-21頁)などを参照してください。

日系イギリス人第1号となる

すでに外国で家庭を築いていた音吉は、日本への帰国をすすめられても、帆柱に高々と並びいている英国の国旗を無言で指したと記録されています。しかし私は、日本では未だに禁教となっているキリスト教徒であることを自覚した音吉は、天の御國を見上げたに違いないと思います。また、マカオに戻るたびに温かく迎えてくれた友とも師とも仰ぐウィリアムズが、後年、力松と音吉のことを「彼(力松)とOtosanは上海に住んでいたが、信仰に忠実な生活を送り、日本のキリスト教会の初穂であった」と述べています。

音吉は1862年1月、内乱の治まらない上海を去って、英国海峡植民地で自由貿易港のシンガポールに移住し、2年後には英国籍をとり(1864年12月20日付)、日系イギリス人第1号となりました。

音吉は、日本が、身分制度のない、信仰の自由が保障される国となるよう祈りながら、明治維新前年の1867年1月18日、地上での漂流生活を終え、翌日キリスト教墓地に信者John Matthew Ottosonとして埋葬されました。

音吉の出身地、愛知県知多郡美浜町の聖書と訳頌徳碑の近くに、音吉顕彰碑(立像)が2018年10月5日に建立されています。

シリーズ紹介

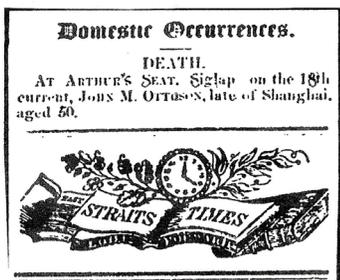
田中幸子氏は東京基督教短期大学講師(1967-1973)を経て、椋山女学園大学で教授(1979-2004、言語学)を務められました。

地の塩

日本同盟基督教団

みことばの証し人たち

音吉の死亡記事 (Singapore Daily Times, 1967年1月21日付)



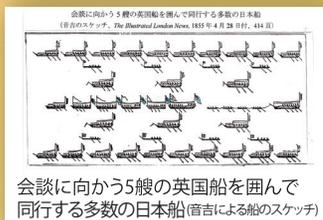
音吉の死亡記事



英艦ウィンチェスター号



長崎港外停泊中のスターリング艦隊



会談に向かう5艘の英国船を囲んで同行する多数の日本船 (音吉による船のスケッチ)

シンガポール・キリスト教墓地の音吉の埋葬記録 (国立公文書館蔵)

墓地区画・墓番号	家系	埋葬日	埋葬場所	性別	年齢	住所	職業	死因	登録官署名
100/100	オトキチ	1854	St. Andrew's Church	男	50	上海	通商	不明	John Mathew Ottoson
226	オトキチ	1867	St. Andrew's Church	男	80	上海	通商	不明	John Mathew Ottoson

(Leong F. Meng, The Career of Otokichi, 2005, p. 61)

シンガポール・キリスト教墓地の音吉の埋葬記録

漂民オトキチから John Matthew Ottoson へ (その5・最終回)

たなか さちこ
愛宕山教会会員 田中 幸子

スターリング艦隊 長崎へ

上海に停泊していた英国のスターリング提督は、前年日本を震撼させた「四艘の黒船」のうちのプリマス号の士官から、日本訪問時の詳細や、この3月に日米和親条約を締結して上海に戻って来たばかりの士官などからも、忍耐を要した日米交渉の過程などを直接聞くことができました。

「鎖国」という日本の固い扉が米国によって開かれたことを祝って、米国独立記念日の7月4日、港内にいた米国人に敬意を示すため、スターリング提督は、すべての英国籍船と乗組員を正装させ、21の祝砲を高々と打ち上げました。

自国も米国と同じような条約を結びたいと強く思いながらも、「管轄域内のロシア船を追撃せよ」というヴィクトリア女王の勅命を遂行するため、スターリング提督は、デント商会から音吉を通訳として借り受け、旗艦ウィンチェスター号に座乗し、蒸気艦エンカウンター、バラクータ、スティクス (総勢960名) を伴って、1854年9月2日、長崎へ向かいました。

日本側との接触

9月7日の午後、九州の陸地が見える地点に達したところ、スターリング提督は、艦隊に戦線体制をとるよう合図し、一列に連なった4艦の艦長を旗艦に集合させ、1枚のメモを渡しました。そこには「日本に滞在中、相手を不快にしたり、誤解を招くような言動を慎むよう、すべての士官と乗組員に徹底させること」と書いてありました。日本に来た目的は、通商のためではなく、ロシア船を捕縛するという軍事目的のためであることを、全員に再確認させました。

それから、4艦はゆっくり長崎港に向かいました。夕暮れ時になると、多くの番船が現れて4艦を囲み、長崎港内に入れないようにしました。白い棒の先に括りつけた一枚の紙きれが提督に届けられると、提督は数人の役人を艦上に招き、オランダ語で書かれた「船の所属、来航の目的、滞在期間」などの質問に対して質問しましたが、すでに数か国語を身につけていた音吉が、すぐに口頭で答えました。

次に提督は、絹のリボンで結ばれた羊皮紙に英語で書かれた女王の書簡を、役人に手渡しました。